全体構想（案）の修正内容について

(1) 第2回推進委員会から修正したもの

No.	内容	発言者	修正対応	全体構想のページ
1	「都市構造に影響を及ぼす変化」のタイトルと課題のタイトルが紐づいていない。	東口委員	「都市構造に影響を及ぼす変化」から「市の現状と課題」へ変更した。	14
2	公共下水道ビジョン、令和8年度には「上下水道ビジョン」に変更となる。	東口委員	記載する際は、「上下水道ビジョン」に変更する。	23
3	社会情勢は環境にしてもよいのでは。	東口委員	「環境」分野で整理した。	34、78
4	基本理念、自然とにぎわいは相反するものなので、調和で繋げてしまうのは違和感がある。どちらかというところ「共生」では。 戸田は水と緑が多いので、それをキーワードとして含めるとよいのでは。	梶山委員	見直し検討委員会の結果も踏まえ、「このまちで良かった 潤いと活力に溢れ 安心を実感できるまち とだ」を案とした。	37
5	スポーツ・レクリエーション拠点は、北部公園、スポーツセンターのみか。道満グリーンパーク、ポートコースも含めたほうがよいのではないか。	細井委員	スポーツ・レクリエーション拠点に「彩湖・道満グリーンパーク」を追加する。ポートコースは県管理施設であることから、今後の状況を踏まえて追加の有無を検討する。	44
6	課題と目標は紐づいているが、目標と基本方針が紐づいていない。	東口委員	目標は現状を踏まえた都市の目標、基本方針は目標を達成するためのハード面の方針を定めており、一対一で紐づいているわけではないため、「基本方針」→「都市づくりの目標を実現するための分野別方針」と文言を修正した。	48
39	(2) 徒歩・自転車に行動したくなる快適な移動空間の整備に、ウォークブルを含めたほうがよいのではないか。	東口委員	公共交通の方針には入れず、「土地利用の方針」及び「都市施設の方針」にウォークブル（居心地が良く歩きたくなるまち）の要素を入れる	49、55
40	スポーツセンターは土地利用方針で「沿道型複合地」となっているが、「文化・行政地」としたほうが合致しているのでは。 ただし、市役所の「文化・行政中心地」とはレベル感を変えるべき。	山崎委員	スポーツセンターの箇所は「スポーツ・レクリエーション推進地区」とした。	51
41	荒川氾濫時、逃げ遅れた場合に3階以上の避難所を活用することになっている。	雨宮委員	先に避難することを記載した上で、逃げ遅れた場合には3階以上の避難所を活用するという書き方に変更した。	72
10	液状化対策というと、民有地の液状化対策も含まれるように捉えられる。マンホールに対する液状化対策であることをわかりやすく表現したほうがよい。	東口委員	本文中にて「液状化に対するマンホールの浮上防止対策」と記載した。	73
11	雨水調整施設について、具体的な施策も含めるべき。	雨宮委員	「雨水貯留施設等」ではなく、「雨水貯留管、公共下水道管の計画的な整備」と具体的に明記した。	74
12	「環境配慮型システム」の用語は、今後使わなくなる予定。再生可能エネルギー、省エネルギーの導入などに変更したい。	細井委員	再生可能エネルギー、省エネルギーの導入に変更した。	76
13	地域別構想の5区分について、行政区分、自然状況、道路等は具体的に何を指すのか。自然条件は道路、河川でいいのでは。	東口委員	行政区分は、平成10年の都市マスタープラン策定時点の旧村の考え方のため、削除した。「自然条件」は「河川」へ変更した。	地域別構想 4-2

全体構想（案）の修正内容について

（１）第２回推進委員会から修正したもの

No.	内容	発言者	修正対応	全体構想のページ
14	工業のソフト事業は、都市計画マスタープランに含めるべきか。	東口委員 野崎委員	土地利用の方針であるため、工業に関するソフト事業については削除した。	削除
15	土地利用に入れるのであれば、操業環境の維持、企業誘致のほうになるのでは。	山崎委員 梶山委員	土地利用の方針であるため、工業に関するソフト事業については削除した。	削除
16	電気自動車の補助金の施策は道路の整備方針と関連がないのでは。	清水委員	関連がないため、削除し、環境都市づくりの方針へ盛り込んだ。	削除
17	他市町村からの被災住民の受け入れとあるが、先に市民のことを書くべきではないか。	雨宮委員	他市町村からの受け入れではなく、避難施設の相互利用が可能となる協定等を結んでいる近隣自治体の施設を利用することができるという記載が正しい（防災指針P17参照）。ただし、都市計画分野の防災の方針としては記載しないこととする。	削除
18	「ごみ処理基本計画」は、改定を行い、「一般廃棄物基本計画」という名前になる。	細井委員	記載する際は、「一般廃棄物基本計画」に変更する。	—

全体構想（案）の修正内容について

（２）第２回見直し検討委員会から修正したもの

No.	内容	発言者	修正対応	全体構想のページ
19	p.5について、重点的に取り組むこと、目玉を強調するとよい。ウォークブル、防災は特に重要であると思う。	深堀委員長	基本目標にイラストを追加し、重要な項目についてデザインを追加した。	39
20	ユニバーサルデザインに外国人の観点にはあるが、交通にも外国人の関わり方を盛り込んでいただきたい。	小嶋副委員長	都市施設の整備方針：公共サインにおける多言語化の推進（第２次戸田市多文化共生推進計画（R5.3）p.39より引用）	55
21	戸田駅～戸田公園駅の埼京線沿いは、現在緑地、人通りが少ない。環境空間はJRの土地であるため、市とJRが連携して、人が歩きたくなるウォークブルなまちを進めてほしい。 埼京線沿いで朝市をやるなど、空き地がもったいないので活用してほしい。	土本委員	事業者と連携を取り、環境空間の利活用を推進していくことを記載した。	59
22	見直しの主なポイント「スポーツレクリエーション拠点」に関して、分野別方針の「２都市施設の整備方針」の「（２）公園・緑地の整備方針」にも関連事項を記載してほしい。	八木澤委員	スポーツレクリエーション拠点が、「④誰もが使いやすい公園の整備」の項目に、健康増進や余暇活動の中心となることを明記した。	59
23	公共交通において、①環境負荷の下げること、②ウォークブルとの連携を盛り込んでも良いのではないかな。	小嶋副委員長	②ウォークブル計画の方針①として「安全で快適な交通結節点と移動・滞在空間の形成」が掲げられているため、「（２）徒歩・自転車で行動したくなる快適な移動空間の整備」に修正した。	66, 67
24	交通にも環境負荷の観点を含めてほしい。	鈴木委員	公共交通の方針にて、モビリティマネジメントのコラムを挿入し、環境負荷の観点を追加した。	70
39	見直しの主なポイント「スポーツレクリエーション拠点」に関して、分野別方針の「５防災都市づくりの方針」にも関連事項を記載してほしい。	八木澤委員	スポーツレクリエーション拠点に位置付けられている、戸田市スポーツセンターについては、洪水・内水氾濫発生時、地震発生時の指定緊急避難場所兼避難所に指定されており、避難場所としても活用されていることを記載した。	49
40	ユニバーサルデザインに外国人の観点にはあるが、防災にも外国人の関わり方を盛り込んでいただきたい。	小嶋副委員長	防災の方針：パンフレットの多言語化、避難所における多言語化対応の推進（第２次戸田市多文化共生推進計画（R5.3）p.48より引用）	73
41	内水氾濫に記載が偏っているのではないかな。荒川の外水氾濫については、含めなくていいのかな。ソフト面がほとんど書かれていないのは追加しなくていいのかな。ハザードマップの周知をしているかな。	八木澤委員	外水対策の方針及び、避難環境の整備（ハード）や避難訓練、ハザードブックの周知などの情報提供（ソフト）も含めて追記した。	74
28	ユニバーサルデザインに外国人の観点にはあるが、防犯にも外国人の関わり方を盛り込んでいただきたい。地域コミュニティの強化には、外国人も含めて入っていただくのかな。	小嶋副委員長	防犯の方針：外国人市民の地域社会（町会・自治会、ボランティア団体など）への参画を促進することによる地域コミュニティの強化（第２次戸田市多文化共生推進計画（R5.3）p.36より引用）	79
29	笹目・美女木地域に、地域資源を活用した住環境や産業の活性化施策を盛り込んでほしい。	奥墨委員	地域別構想において、取組方針に盛り込む。	地域別構想 4-46、4-58

(2) 第2回見直し検討委員会から修正したもの

No.	内容	発言者	修正対応	全体構想のページ
30	美女木地区については、道満グリーンパークの活用、スポーツ、スローライフが楽しめるまちにしてほしい。	奥墨委員	彩湖・道満グリーンパークはスポーツ・レクリエーション拠点として位置付け、健康づくりやスポーツ振興の視点を目標に含めるものとする。	地域別構想 4-58
31	美女木地域の交通について、バス利用者が少ないため、バス路線がなくなるのではないかという住民からの不安の声はある。地域別構想でもよいが、西部地域については、交通を確保することを強調してほしい。	市ヶ谷委員	美女木地域について、公共交通の課題、取組方針を設定した。	地域別構想 4-59
32	アンケートについて、「重要度が低い」といえるのか。表現を考えてほしい。	小嶋副委員長	「重要度が低い」→「重要度が中程度」など、表現を変更する。	資料編

全体構想（案）の修正内容について

（3）その他に修正したもの

No.	—	—	修正対応	全体構想のページ
33			「公共下水道の整備方針」に老朽化対策の推進に関する内容を追加する。	23、62
34			「基本理念」を「将来都市像」に名称変更し、文言を「このまちで良かった 潤いと活力に溢れ 安心を実感できるまち とだ」とする。	37
35			基本目標を9項目から6項目に修正した。（類似した内容を集約した。）	39、40
36			基本目標について、概念的でイメージが湧きにくいいため、イラストやイメージ図を用いた内容とした。	39
37			ウォークアブル区域にJR環境空間が含まれていることを勘案し、事業者と連携し、高架下や環境空間の利活用を進めることで、将来的な沿道の活性化を目指す旨を追記した。	59
38			目標は現状を踏まえた都市の目標、基本方針は目標を達成するためのハード面の方針を定めており、一対一で紐づいているわけではないため、「基本方針」→「都市づくりの目標を実現するための分野別方針」と文言を修正した。	48
39			上位・関連計画との整合について、順番を（1）→（4）へ変更した。	49
40			分野別方針の並び順について、変更した。	48～
41			・本編全般にイラストやイメージ図を追加した。	—